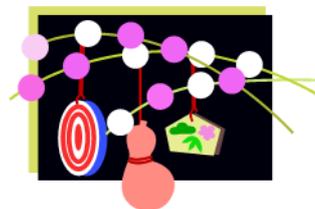


近畿支部会報2017年1月号

皆様、明けましておめでとうございます。昨年は皆さまにとってどんな年でしたか。どうぞ良き年であった事を願っています。

日本や世界では地震や大雨等の被害が多く起こり、又、紛争が絶えない等多くの問題がありました。今年は良い事があります様に願っています。

サーバス近畿支部では、楽しい総会で 2016 年の幕がおりました。2017 年も多くの会員の皆様のご協力によって、良いサーバス活動が出来ますように、よろしくお願い致します。



今回の会報は、次の内容でお届けします。

| | |
|-------------------|---|
| 1.総会報告 | 支部長 |
| 2.トラベル報告 | ・韓国旅日記 交野市 S.S 人生輝いて～旅の印象 京都市 H.T |
| 3.トラベラー受入れ& ステイ報告 | ・3rd visit in Japan Spain M.A.R Report from SERVAS visitors Australia A. & N.H Greetings from India!!! Spain M.C.V ショートメッセージ 京都市 S.Y |
| 4.会員交流—北から南から— | ・モンゴルキャンプ思い出会 藤井寺市 T.S キャンプ参加者忘年会 和泉市 A.K |
| 5.お知らせとお願い | 支部長 |

1.総会報告

支部長

日時：2016年12月18日(日)

場所：ニュートーキョー第1生命ビル店(梅田)

出席者：近畿支部会員13名 入会希望者2名

梅田在住 韓国サーバス会員2名 計17名

久しく総会を行っていた大阪弥生会館が閉館して2年目、今年Tさんが見つけて下さった交通便利な会場での総会となりました。20名の部屋を予約したのですが、嬉しい事に多くの方から参加の連絡をいただき、定員を超えないかなと思う程でした。あいにく、ご都合が悪くなってキャンセルされる方がありましたが、近畿支部の締めくくりにあつたようで、多くの方で楽しいひと時を過ごしました。



今年入会され、サーバスの会合初参加のFさんが感想を寄せて下さいました。

Fです。一昨日の近畿支部総会では大変お世話になり、ありがとうございました。とても楽しい懇談会を過ごさせていただきました。恐縮ですが、感想を書かせていただきます。



・モンゴルの障害を持った方たちと進んで交流されていることをお聞きして、サーバスは特に人の気持ちを大切にし、人のために動く方たちの集団なのだと改めて思いました。特に先方の方たちの所得や旅費のことなども気遣われていることに感動しました。

・懇親会はいろいろな職種の方たちがおられて、お話もとても興味深く、楽しませていただきました。特に韓国のご夫妻のお話は、私の地元九州の話も共通していて、とても懐かしく楽しかったです。

・サーバスに参加されている方たちは、言葉の壁、文化の壁など全く感じず、お互いの文化や考え方に寛容な気持ちで接しておられるのだと実感しました。その気持ちが世界の平和につながるのだと思います。私も寛容な気持ちで色々の国の方たちと接し、親交を深めたいと思います。今後ともよろしくお祈りします。

・議案の討議

1、2016年度事業報告

例会

| 実施日 | 場所 | 内容 | 参加者 |
|-------|----------------------|--|-----|
| 2/20 | かごの屋 茨木春日丘店 | ・国内会議への提案について ・支部への寄付依頼（ネパール支援）について | 9名 |
| 6/26 | 大阪市立阿倍野市民学習センター | モンゴルキャンプ参加者激励会 | 24人 |
| 8/1~7 | モンゴル | モンゴルキャンプ | 16名 |
| 8/14 | 滋賀県 三井寺 | モンゴルの子供たちの絵画展鑑賞 | 9人 |
| 9/18 | かごの屋 茨木春日丘店 | ・国内会議の報告と討議 ・グループメールでのホスト募集に際してのLOIについて ・新サーバスのロゴマークに伴う支部の旗について ・支部運営（役員）について | 7名 |
| 12/18 | ニュートーキョー 第一生命ビル店（梅田） | 総会 | 17名 |

会報

会報は6回発行、日本モンゴル障がい児交流会として交流キャンプ報告集を作りました。

被災された方の保養の取り組み

チェルノブイリや福島原子力発電所の事故で被曝された方が、被災地から最低2週間離れると発癌率が低下するという事で、保養・疎開の取り組みが進められています。日本サーバス近畿支部でもその例にならって、今夏も実施し、W会員がTさん家族3人を受け入れました。

来年も引き続き、行います。

モンゴルとの取り組み

日本モンゴル障がい児交流会として8月モンゴルにおいて「日本モンゴル交流キャンプ」を行いました。その後、キャンプ参加者で2度会合を持ち、今後の交流について内容を深めました。

<交流の方向>

モンゴルから依頼された障がい児教育の中身については、専門の関係者が関わって来られるようになったので、本会としては障がい児本人・家族との交流を中心にして、障がい児家族の力でモンゴルの障がい児に対する施策が進むように協力する事を主にする。

<次期交流の原案>

モンゴルの障がい児家族・関係者を日本に招待し、日本の障がい児を取り巻く実情を知って頂き、日本の障がい児家族との交流を通じて励まし合う関係を深める。

| | |
|-----|---|
| 日 時 | : 2018年3~4月(学校の春休み中)の1週間 |
| 内 容 | : 京都・大阪・奈良等の観光とショッピング 大阪市舞洲障がい者スポーツセンターや大阪府立青少年海洋センター等での交流 |
| 参加者 | : モンゴル日本両国とも障がい児家族10人 スタッフ5人, 支援者5人までを基本とする。 |
| 費 用 | : 日本の参加者は全額各自負担 モンゴルの参加者は日本滞在中の費用は無料(土産等個人に属するものは除く) |

*取り組みのため、支援金を募る。

以上の原案については可決・承認されました。

2、役員について

役員の任期は2年なので、今の役員は今年で任期終了です。次は以下の体制で進めます。

支部長 H.T 副支部長 M.T 会計 A.K 会計監査 O.M GM管理 F.H 会報 K.K

ホストコーディネーターは応募者がなく、「ホストコーディネーターは欠員」という事になりました。

3、2017年度事業計画

①次のように例会等を行います。

| | |
|-------|--------|
| 2月 | 春の例会 |
| 5又は6月 | 初夏の例会 |
| 秋 | 秋の例会 |
| 12月 | 総会 |
| 未定 | お楽しみ例会 |

会報は原則として、例会後に作ります。

② 東日本震災で被災された方の保養の取り組みを行います。

4、2016年度近畿支部会計中間報告、2016年度日本モンゴル障がい児交流会会計中間報告、及び、2017年度近畿支部仮予算書について

原案を討議の上、承認されました。

5、日本モンゴル障がい児交流会規約

会員を「今回のモンゴル障がい児教育研修にご協力くださった方に意向をお聞きして願います。」から、「モンゴル障がい児教育研修にご協力くださった方、モンゴルキャンプ参加者に意向をお聞きして願います。」に改定しました。

2. トラベル報告

9月29日関西空港から12:35発ピーチで韓国仁川空港に向けて出発しました。韓国は2度目の旅行でした。今回は Servas の東アジア会議が韓国で開かれるので、それに参加しました。私は一昨年オーストリア等と一緒に旅行したTさんと参加しました。彼女とは仁川空港で待ち合わせました。最初の滞在先であるソウルにある Mr.H さんの家へ二人で行きました。夕方は Mr.H さんの奥さんとプレミーティングに行きました。



30日ソウルから扶余まで250Kmくらいの距離をバス2台に分乗し観光しながら移動しました。この間の食事、おやつ、水、手提げなどの小物も頂きました。韓国は国民の国際交流に補助を出しておられて財政的にも豊かなプログラムが組まれていました。また、若い会員も多くて活気のあるサーバスでした。日本のサーバスではこのようなもてなしは出来ないと思いました。観光の最初は宗廟へ行きました。宗廟は朝鮮王朝の歴代の王と王妃が祭られているところでした。次はサムソンミュージアム。ハイテクを駆逐して作られたコマーシャルセンターといった感じですが、プレゼンテーションには驚きました。最後は水原華城。朝鮮時代後期に作られ、防衛を目的に作られて城壁などの見学をしました。中国、韓国、朝鮮と文化の流れをいたるところで感じました。宿舎は扶余にあるユースホステルで5人部屋でした。丁度、子どもの林間学舎といった感じでした。この会議で3年前に初めて韓国に行ったとき最初に泊めていただいたL夫妻にあえてうれしかったです。Mr.Lが李王朝の子孫だとは知らず・・・私の家にも来た Mrss.Y や Mr.B にも会えてうれしかったです！ 今度は日本でお会いしたいです。1日午前中は各国の報告、交流があり、次回は何処で東アジア会議を開くかが議論されました。午後は扶余の観光がありました。定林寺址・・・百済の仏教文化今は仏教徒よりキリスト教徒が多いといひます。日本も同じ流れの仏教国なのに、なぜそうなったのか興味がそそられました。夜は韓国の音楽やコント、演歌もあり、こぶしが効いてとてもうまかった！ここでも各国の出し物もあったが、昼の観光もあり、少々つかれた。

2日、扶余2日目は午前中扶余の観光。午後は安東へ行きました。扶蘇山と落花岩・・・百済遺跡が多く日本と百済の興味深い遺跡があり、日本との深いつながりを感じた。大和の支援も功をそうさず、新羅と唐の軍に追い詰められた女性たちは死を選びここから花が散るようにハラハラと海に飛び込んだという。沖縄のひめゆりの塔を思い出し、何処の国にも悲しい歴史のあることを感じた。白馬江クルーズではちょっと船に乗り、ゴラン寺にいった。ここでは一杯湧き水を飲むと3年若返り、2杯飲むと6歳・・・。そんな話が日本にもあったけれど元の話はここなのかしら??お昼のランチとお水、おやつを



いただいて、私たちは憧れの安東へ。会議に参加されていたKさんが自宅テグに帰るのに大回りして安東のホテル、北村宅まで送っていただきました。車で3時間ほどかかりました。感謝でした。安東の河回村は日本の白川郷に似た古民家です。韓国の氏族村は朝鮮時代(1392~1910)初期に形成し始め、朝鮮後期には全体の村の中で約80%を占めるようになったという。韓国では現存するもっとも大きい氏村で私たちが泊まった北村宅の主は9代目とっておられた。土塀と古民家がマッチしてとても落ち着いたところだった。

3日、朝のうちに河回村を散策して、ゆっくりした朝食の後はテジョンに移動しました。シャトルバス-長距離バス-地下鉄-バスと乗り継いで次のホスト宅へ向かった。電車とバスの乗り継ぎが離れていて、私たちは聞きまくりの旅だった。英語が通じなかったり、モタモタしていると、お手伝いしましょうかと日本語で話しかけてくれる親切な人がいました。この方がバス乗り場まで7分程度あるところを案内していただき、バスの運転手に行き先を確かめてくださいました。お名前も聞けず十分感謝の意が伝えられず心残りでした。またこの後、地下鉄乗り場もわからずモタモタしていると今度は英語でお手伝いしましょうか？と声をかけてくださった若い女性がいました。この方はテジョンは初めてなのに周りの人に聞きながら乗り場まで案内下くださいました。韓国の方は親切！！とまた感激でした。どうにかホストの近くまでたどり着き、駅へ迎えに来てくれました。彼女の家に着き、彼女のマンションでちょっと休憩して、カンントリーサイドの彼女のセカンドハウスへ行きました。ここで2泊しました。夕食は旦那さんが焼き肉をしてくださった。ほかにもいくつかおかずがあって・・・ワインで乾杯！！おいしかった。

4日朝起きると雨上がりで、あたり一面霧！早速カメラを持って家の周りを歩きました。連日の日程でそれほど早くは起きられなかった。すぐ裏が小高い山で栗がいっぱい落ちていた。二人でとって家に帰ると、ホストは栗は持ち主がいるからとってはいけないと言われた。「取ったのではなくて、拾ったよ。」と言ったけど・・・。後は大笑い。昼近く車で奥さんと3人で韓国のお寺に行った。観光地らしく出店や食べ物屋もいっぱいあった。韓国の寺は岩絵の具で色が鮮やかですと言ったら、近頃は化学染料の絵の具だと言われた。この後、百濟時代の王や王族が眠る公州(コンジュ)にある古墳群へ案内していただきました。高速道路で1時間ぐらひはかかったと思います。古墳の内部は日本は石室になっているのが多いようですが、こちらは焼き煉瓦で文化、技術が高かったことが感じられました。展示の仕方もわかり易くきれいでした。夕食は高速道路のサービスエリアで食べた。もうあっさりしたのがほしくて、私はラーメンを食べた。ともだちはビビンバを食べた。ラーメンまでからかった！！こんなはずじゃなかった！でも、おにぎりがついていたので助かった！

5日午前中はそろそろ土産を買いに行きたいと思い、彼女にスーパーに連れて行ってもらう。やっと、韓国のお金になれたところでお土産も考えてかった。やはり韓国は安い。最後の家のお土産も買って、最後のホストの家に彼女に送ってもらいました。最後のホストは私たち安東に行く2日にはまだ決まっていなかったのです。なければホテルをさがそうと思っていました。安東から帰ってくると彼女が「ホスト決まったよ。」と言ってくれました。彼女がさがしてくれたのでした。二人で喜びました！！最後の彼は、幸せな家庭を持っておられたけれど、奥さんが旅立たれて半年という中で私たちを受け入れて頂きました



6日 朝食は私たちは一杯食べた。彼は朝食はいつもリッチに食べるんだと言っていた。朝食の後、仁川空港へ向かう長距離バス乗り場まで彼が送ってくれました。Tさんは成田へ、私は4：45関空着で帰ってきました。

トラベルはトラブルから来るとTさんは言っていたけれど、今回は、いや、今回だけはトラブルなく、スムーズにいった旅行だった。いつも旅行を終えて感じるのですが、今回もいっぱいの人に教えてもらい、助けてもらった旅でした。心に残る韓国の人々の温かさに感謝しています。

人生輝いて～旅の印象

京都市 H.T

10月19日から11月4日まで妹とアメリカ・カナダを旅行しました。今回の旅行でしたかったのは、アメリカの3大美術館であるシカゴ、ボストン、メトロポリタン美術館、ナイアガラの滝、ニューヨークのハロウィンパレードを見る事でした。旅行中はずっとサーバスホストのお世話になりました。

10月19,20日シカゴ Mr. & Ms. K. E

19日シカゴの空港に迎えに来てくれたKはヒラリーと書いたポロシャツを着ていました。彼女の家に着くとあちらこちらにヒラリーを応援するポスターやステッカーがいっぱいでした。その晩はラスベガスでトランプとヒラリーのディベートがあり、彼女の家には近くの人が10人以上集まってテレビを囲み、ヒラリー応援のパーティが開かれました。大統領選でこんなに国民が盛り上がり、大統領がこんなに国民の身近である事にびっくりでした。翌日は電車で町に出て、シカゴ美術館等町の観光をしました。彼女は夜からご主人と音楽会に出かけたので帰りが遅く、次の日は空港に行くために朝5時半にタクシーが迎えに来ました。Kは「私たちが起こさないで」と家の鍵の開け方閉め方、閉めた鍵をどこに置くかを詳しく指示して寝ていました。日本だったら帰る時鍵のために起きてあげるのにと、アメリカの生活を垣間見た気持ちでした。



21,22日 ケンブリッジ Mr. & Ms. M. J

トロント空港にはMが迎えに来てくれました。あいにく雨が降っていたのでMのお母さんのいる老人施設へ行きました。日本の老人施設とあまり変わりはありません。月に1週間位はMの家に帰るそうで、子供・親とも無理なく幸せに過ごしているスタイルが良いなあと思いました。次の日、ケンブリッジで土曜日や古い昔の踊や歌、馬車が走ったりするお祭りがあるので、それに行く予定でしたが、私たちが11時半まで寝てしまってアウト、何とも残念でした。大急ぎでケンブリッジに行き、市役所で開かれるスープパーティに参加しました。スープパーティと言うのはケンブリッジ中のレストランが集まり、スープを作って安価で販売し、その収益で家で食事を作るのが難しい人のために家に食事を届けると言うものでした。いろいろな味の美味しいスープがあり、3杯程飲みました。マイケルのお友達もたくさん来られていて、あるご婦人が家に招待してくれました。彼女は町の一軒家に住んでいたのですが、ご主人が亡くなり、コンドミニウムに移られたのです。素晴らしいコンドミニウムで一見お城の様でした。そこには彼女の描いた水彩画等が飾られ、ハロウィンのために特別なクッキーを作ったりしていました。彼女は一時非常に強いうつ病になって入院されたそうで、そんな事は繰り返したくないと豊かな生活を築いていられるのが感動的でした。その夜はMの家でパーティ、盛り上がりました。次の日、高速道路が工事中で走れない中、トロントのバス停まで送って下さいました。

23,24日 ピーターズバーグ Ms. D. J

ピーターズバーグと言う小ざれいな町から車で30分位の所にある湖に面した風光明媚な所がJの家でした。彼女は手芸が好きで素晴らしいキルトがいっぱいでした。それもパターンで作ったキルトではなく、自ら絵を描きそれをキルトにするという素敵な作品です。また、彼女は海も好きで、部屋は貝殻等で非常に上手くデコレーションされていました。今ぞと輝く紅葉した木々、家々には可愛いハロウィンの飾り、近くの散歩も楽しいでした。翌日、朝からアボリジニの町に連れてくれ、個性的な絵画や彫刻に楽しい時を過ごしました。昼からはピーターズバーグの町へ行って世界で1つのカナダ博物館等観光しました。カナダには世界の湖の70%があり、この町にも多くの湖があります。湖は水路で結ばれて

いて、高低差の非常に大きい湖も、ダムのおかげで船が行き来出来ます。やはりカナダの自然は素晴らしいと感じました。翌日もトレイルを案内して下さり、秋の自然を満喫した日々でした。

25、26日 トロント Mr. B. J

B の料理はとても美味しい。上手というような生半端ではなく、凄い腕で初めて口にする個性的な料理を作って下さり、素晴らしい滞在でした。憧れのナイアガラの滝へバスで往復し、ナイアガラの滝を満喫しました

27日 ニューヨーク Ms. F. B

F は少し前に股関節の手術をして歩くのが少し難しそうだったので、スーパーで買い物をして日本料理の夕食をつくりました。彼女は日本料理が大好きで大喜び。F はベネズエラ出身で、夕食後はラテン音楽と踊りに酔いしれました。

28、29日 ボストン Mr. & Ms. D. P

建築デザイナー夫妻です。彼女は土産に Japanese Modern House Architecture の本をリクエストされ、本屋でお会いした建築の専門家に選んでもらった本をとっても気に入ってくれました。彼女の家は彼女がデザインしたもので、家の至る所に日本建築の要素が取り入れられていて、納得でした。ご主人は船を作るのが趣味で、家のあちらこちらにご主人の作られた船が飾られ、彼らの興味や関心はただ事では無いと感激することしきりでした。思わず口から” Servas stay is more than UNESCO world’s heritage” という言葉が飛び出しました。私は彼らの輝きに照らされていました。「輝きを持って生きている人は人にも輝きを与える。私もそんな人生をいつまでもしたい」と思った感動的な瞬間でした。翌日は、D がボストンの町を案内してくれました。車で走りながらも町の建物についていろんな説明をしてくれて、一味違った素敵な町見物でした。その夜は4人で近くのパブレストランに行き、ジントニックを飲んだりとても楽しい夜でした。

30、31日 ニューヨーク Ms. F. B



再びF の家へ。F はベネズエラの料理を作ってくれました。今回はメトロポリタン美術館とハロウィンパレードを楽しみました。私たちは早くパレードの会場に行き、かぶりつきでパレードを楽しみました。いろんなコスチュームに身を囲み、竹馬のようなもので歩く人たち、骸骨を自在に操っている人たち、情熱的なダンス、ニューヨークのハロウィンパレードは特別だと言われたことが納得でした。

11月1、2日フィラデルフィア Mr. & Ms. S. K. O

S はT さんの紹介です。彼女の家はフィラデルフィアの町から車で40分位の郊外にあります。紅葉した木々、個性的な家々、何とも素晴らしい所でした。一服して川の辺りのトレイルに行きました。アメリカの片田舎の美しい自然、乗馬をしている人や、散歩をしている人、素敵なウォーキングでした。翌日はフィラデルフィアの全てのバスや車のストライキがあり、ご夫妻が車でフィラデルフィアに連れて行って下さり、観光をしました。翌日もまだストが続き、ワシントン DC へのバス停へ送って頂いたのですが、渋滞で進めず、出発ぎりぎりに着いたと言う際どい所でした。

3、4日ワシントンDC Mr. & Ms. H. S

引っ越されたばかりで段ボールが山積みの中、引き受けて下さいました。彼らの家はジョージタウンにあり、町の中心部からバスで40分かかるのに、バス代はたった1\$。又、美術館等が無料等ワシントンDCは凄く優遇されています。美術館だけでなく、ホワイトハウス、リンカーン記念館、キング牧師記念碑等アメリカの歴史に大切な物をいっぱい見ました。

5, 6日ニューヨーク Mr. & Ms. B. T

ニューヨークはステイ希望者が多く通常は断っているが、私たちが京都からという事で京都びいきのホストがOKして下さい、ラッキーでした。日曜日、Bが教会に誘って下さいました。讚美歌が声高々と響き渡るミサに続き、その日は亡くなった方を忍ぶ事がメインらしく、軽い食事をしながら思い出を語り合っていました。その後、ミュージカルへ。劇団四季に所属し、今、ニューヨークに住んでいる姪が券の手配等してくれて“Jersey Boys”を楽しみました。エネルギッシュな熱演もさることながら、客席の皆も舞台と一緒にのりのりで、日本での観客の態度と大違い、会場中ミュージカルという感じでした。

今回色んな所で美術館に行きました。何処も素晴らしいコレクションは言うまでもなく、展示の仕方が日本とは桁外れ。展示というのではなく、場をしつらえてある。仏像の展示は立派なお堂が作られ、掛け軸は床の間に飾られている等です。

世界中の芸術家が夢を叶えようと集まるニューヨーク、世界中の富豪が生活をエンジョイするフロリダ、色んな事があるとはいえ、やはりアメリカは抜きんでいる点があると感じた旅でした。

今回もサーバスならではの旅でした。感謝の一言です。



3. トラベラー受入れ&ステイ報告

3rd visit in Japan

Spain M.A.R

“In this third visit to Kyoto, second to Otsu, by chance I stayed with M. O a new and young Servas member. I was her first guest, a lucky experience with a lovely family (and 2 friendly dogs in cages!). The 2 women –she and Y- her mother- are real artists in the kitchen (M makes also beautiful earrings and different handcrafts) and the men -father and brother- artists also in their own way (music, photography, painting, designing...). And I almost forget to mention a so shy grandmother! (I saw her only when she was not quick enough to hide herself!) All they were busy working but still there was time to chat, interchange information and joke during meals (translated by M). The women brought me to Miitera Temple (for the autumn night lighting) and to an “untypical” bar (only Mozart music). Since I knew in 2011 Otsu and Biwa lake, during those 2 days I went to Kyoto city (in Gion, with a DH N. T, the most delightful *kaizeki* meal of my life) and to Arashiyama (a complete Sunday walking by myself around was only enough!).



Another 2 days, in Kyoto gave me the possibility to visit Sochei-en Garden and Higashi-Honganji temple (a more complete visit than in 2011; I read somewhere this is the biggest wooden building in the world!?). And some hours before dark in Daitokuji temple. Kyoto is a “must”

in Japan, I will never finish to discover this wonderful city. I wish to stay at least a week in my next Japan trip in 2018! (fourth, maybe!) Just a few words to mention the H family's generosity for these 2 last days. T -still suffering from jetlag after a long trip abroad- accepted me and managed to make delicious dinners and breakfasts. To stay with H family was to be with an old friend, so familiar as crossing magnificent Tofukuji in the way to her home..., I felt already in my neighborhood! Thank you again to T and E. H for everything!

Thanks to all Japan Servas and thank you all Japan people!

Have a wonderful 2017, with my warmest regards:

M

Report from SERVAS visitors

Australia A.& N.H

Me and my wife have just returned from a memorable trip to Japan, and just as we hoped, the SERVAS component of our trip was what made it particularly special. It is always with a touch of apprehension that we feel when we arrive in a new country and try to make sense of a new city's (Osaka) public transport system and find our destination. Luckily for us, our first SERVAS host, T and K. A had provided us with very clear directions so we had no problems. They made us feel very much at home and we got on so well that we were invited back in a week to stay with them again



for a few more days. We then went down to Shikoku and walked around 10 temples before heading over to Kyoto where we enjoyed the hospitality of SERVAS hosts T and E. H. It really made our trip very special. Thanks for the lovely meals, & sake. Trip to Fushimi Inari shrine before breakfast is definitely the best time to go. As well as being very helpful in helping us organise our activities. It was also great to hear some of our hosts experiences as SERVAS hosts and SERVAS visitors. In Kyoto we took Taiko, Kumbu, Dance and Koto lessons, and in Osaka we bought a Koto which we hope to learn how to play when we get back to Australia. We look forward to the time when T, K, T and E visit us in Bendigo, Australia.

Much thanks

A. & N. H

彼らはオーストラリアの小さな町に住んでいられるのですが、友達にも手伝ってもらってお二人で建てられたログハウスに住み、電気は太陽から水は川からと公共の設備は一切使わない生活をされているユニークなご夫婦です。

H. T

Greetings from India!!!

Spain M. C. V

Hope all are well!! I like to wish you and your nice family a wonderful holiday season and a greater New Year 2017!!! I am India until March.

All the best!!

M

彼女は 2015 年日本に来られました。東京で転倒して顔面を強打、救急車で病院に運ばれ、怪我した所を縫合されました。病院の先生は英語が出来ず、彼女は自分の症状について何もわからなくて、非常に不安な顔で 12 月 1 日我が家に来られました。翌日訪れた病院では先生が流暢な英語で彼女の症状、今後の見通しを説明して下さり、彼女はすっかり元気を取り戻されました。京都の後、奈良の K さん、大阪の M さん、下諏訪の K さん、東京の I さん、横浜の T さんとサーバスを繋いで、夫々の所で Dr. を受信して抜糸も終わり怪我も回復して、観光やステイを楽しみました。



彼女は抜糸が済んだ時、次のようなメールを私に下さいました。

Dear T

It was very nice to meet you and your family. I thank you for all the wonderful hospitality you gave me at your place. Kyoto is a beautiful town that I enjoyed very much. I am also very thankful for taking care of my doctor's needs. I appreciate deeply you coordinating my stay at the Servas hosts homes. So, I can feel more at ease while in Japan. I will always remember your kindness for being like a mother to me. I wanted to let you know that I got my stitches removed this afternoon.

With warm regards

M

1 年後のクリスマスに爽やかな写真を添えたメールを受け取り、とても嬉しい気持ちです。サーバスは一期一会である事が多いですが、出会った事がきっかけでまるで家族のようにずっと交流が続く事も多くあります。この混んとした世の中、サーバスがどれ程の力になるかはわかりませんが、サーバスゲストの受け入れやサーバス旅行という草の根交流を通して、世界の人々が相互理解を深めるサーバスは、やはり素敵だと心が温かくなります。

H. T

ショートメッセージ

京都市 S. Y

11 月 18 日 S. V (オーストラリア人) とその家族、ご主人 (ベトナム人) 娘さん 11 歳を受け入れました。奥嵯峨から嵐山、金閣寺を案内しました。ご家族でカンボジアに住んでらっしゃっていて、今は一年かけて世界をまわっているということです。すごいですね。

4. 会員交流—北から南から—

(モンゴルキャンプ参加者が キャンプ後に行った思い出と忘年会について、報告します。)

モンゴルキャンプ思い出会

藤井寺市 T. S

日 時： 平成 28 年 10 月 16 日 (日) 11:30~15:00

場 所： イタリアンレストラン「オステリア ニンナナンナ」
大阪府中央区久宝寺寺町 1-7-16 (TEL: 06-6263-8008)

参加者： キャンプ参加者 13 名

テーマ： 日本・モンゴル交流キャンプの思い出と今後の活動について。

レストランの名前、「ニンナナンナ」はイタリア語で子守唄の意味で、どんなお客様にも安らいでいただけるお店を目指されています。ソムリエでもあるシェフは、若き日にイタリアのフィレンツェで修業され、シェフが、「うまい！



すごい！」と感じたことをそのままお店で紹介されています。私たちは数々運ばれてくるめっちゃ美味しい料理の数々に大満足でした。

1.思い出の交換

「その後の体調は？」「2週間位調子が悪かった」など、下痢で大変な思いはしましたが、下痢も含めて楽しかった良き思い出が続々話されました。キャンプの写真をまとめて編集したアルバム、キャンプの写真を中心にして作った本、キャンプ中の楽しい絵日記等、皆の創意溢れる記念の数々、思わず見入り、改めて素晴らしかったキャンプを思い出しました。キャンプ後、モンゴルの人とメールで交流している人、高校生は何とモンゴルの文字でメールを送ったのです。モンゴルの方を自宅に泊めている人、キャンプをきっかけに楽しい交流が生まれ育っています。

2. キャンプ費用

キャンプでの活動費としてモンゴルの方の分も含めて過去に集めた寄付金から約46万円を使用しました。詳しい事は会計報告をしますので、待ってください。



3. 日本サーバス、モンゴルサーバス、日本モンゴル障がい児交流会の紹介

4. 次回の取り組みについて

次回はモンゴルから日本に来てもらって、日本、モンゴル障がい児親子の交流をしよう。

時期 : 2018年春休みの1週間

内容 : 京都、大阪、奈良等での観光とショッピング、障がい児家族の交流 (アミティ舞洲等で)

費用 : 日本からの参加者は実費負担、モンゴルの方は日本滞在中の費用はお土産等個人に属するものを除いて無料にする。そのため、寄付を集める。

人数 : 日本モンゴル両国とも障がい児家族10人、サポーター5人、支援者5人位を目途とする。

以上、前向きな意見が多く、今後も活動を継続し定期的に会合 (忘年会等) をする事となりました。

キャンプ参加者忘年会

和泉市 A.K



12月3日(日)は、お天気も良く冬の寒さを感じることもない暖かい日でした。11時30分より13時10分まで、オステリア ニンナ ナンナで、おいしいイタリア料理をコースでいただきました。みなさんは、ひとつひとつ丁寧に作られたお料理を見て、珍しい食材、作り方を聞いていました。

参加者はキャンプ参加者10人です。検討した内容は、モンゴルの方たちの受け入れはどうかと前回に続いてアイ

デアを出し合いました。日程は、2018年(平成30年)で1週間くらいの予定で、関空到着後、サーバス会員宅等にホームステイ、その後、モンゴルは海がないので、海のすぐそばにあり、数々の海の活動が楽しめる大阪府立海洋センターに泊まったらどうか?と、前回のアミティ舞洲に加えて子供達の楽しめる場所等を考えてみました。大阪府立海洋センターでは、宿泊体験と、海の体験としてカッター、船に乗る、磯遊び、バーベキュー等が出来ます。みさき公園では遊園地とイルカのショー、奈良公園では大仏と鹿、嵐山を歩いてサルを見る、梅小路公園の交通博物館、京都動物園、天王寺動物園、モンゴルの方の大好きな買い物はりんくうアウトレット等、色んなアイデアが出ました。

次は4月中旬位に大阪府立海洋センターに下見に行こうと考えています。進学されて、忙しくなる方もいらっしゃると思いますが、是非、参加してください。

この内容を Hiさんから Hgさんに伝えてもらいます。

5.お知らせとお願い

支部長

*2月11日(祝・土)お昼を挟んで「かごの屋 茨木春日店」で2017年度第1回目の例会を行います。詳しくは別途ご案内しますので、宜しくご予定下さい。

*2017年3月18(土)19(日)日に仙台市にて日本サーバス国内会議が行われます。皆さん、奮ってご参加下さい。参加される方は支部長までお知らせ下さい。

*総会で新役員が次のように選出されました。宜しくお願いします。

支部長 H.T 副支部長 M.T 会計 A.K 会計監査 O.M 会報 K.K

グループメール管理 F.H (ホストコーディネーターは欠員)

*2017年度サーバス年会費(一般3000円学生2000円休会者B1500円)を次の口座へ宜しくお願いします。口座番号00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部

以上